

# ハイテム、鶏卵自動生産機器

## 中国で大型受注2件

養鶏機器製造のハイテム（各務原市テクノプラザ、安田勝彦社長）は、中国市場で2件の大型受注を獲得し、2016年9月期決算の売上高を過去最高の40億円台に乗せる見込みだ。中国市場は今後さらに拡大するとみて、数年中にはシェア1割を目指す。

（舌間隆博）

### 9月期 売上高最高見通し



安田勝彦社長

「品質の徹底などを進めたい」としている。同社は国内でトップシェアの6割を誇る。中国でのシェア1割は現在の国内売上高に相当するといいい、安田社長は「日本のトップからアジアのトップを目指す」と、中国を足場

としている。また、同社は5月、中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者」に選出され、表彰を受けた。同社の機器は競合と比べて卵が割れる率が低く、耐久性にも優れているほか、鶏糞を乾燥させて肥料化する独自の設備を拡張することができ、養鶏場経営の合理化に寄与した点などが評価された。

一日当たり50万個の鶏卵を自動で生産できる養鶏機器を、巨大消費地の広州市や上海市近郊の養鶏業者から今月までに受注した。中国は養鶏の自動化が始まったばかりといいい、安田社長は「自社機器の品質や付加価値には自信を持っているので、営業を強化せずともショーウィンドー効果で今後も受注は増える」と分析。「今年が第二の創業期といえ